

GREEN × EXPO みどり委員会記録
【速報版】

令和8年5月18日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横浜市会

開会時刻 午後2時00分

◎ 開会宣告

- 川口広委員長 これより委員会を開会いたします。



◎ 委員席の指定

- 川口広委員長 委員席につきましては、名立てのとおり指定いたします。

鴨志田 副委員長	磯部 委員	おさかべ 委員	花上 委員	古谷 委員
川口 委員長				
坂井 副委員長	尾崎 委員	久保 委員	二井 委員	梶村 委員



◎ 正副委員長代表挨拶

- 川口広委員長 初めに、正副委員長を代表いたしまして、私から一言御挨拶申し上げます。

このたび、GREEN×EXPOみどり委員会の委員長を拝命いたしました川口広でございます。

本委員会は、皆様御承知のとおり、来年3月に開幕する横浜GREEN×EXPOやサステナブルなグリーン社会の実現に向けた様々な取組を行う脱炭素・GREEN×EXPO推進局と、緑や公園を生かしたまちの魅力づくりに取り組むみどり環境局を所管する、大変重要な委員会であると認識しております。

このような重要な委員会の委員長を務めることになり、その責務の重大さを痛感しておりますが、幸いにして、鴨志田、そして坂井両副委員長に補佐をしていただくことになり、大変心強く感じているところでございます。

委員の皆様におかれましては、この1年間、御支援、そして御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、平原副市長をはじめとする当局の皆様方並びに報道機関の皆様方におかれましても御協力いただきますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、正副委員長を代表しての御挨拶といたします。

どうぞ、1年間、よろしくお願いいたします。



◎ 各委員自己紹介

- 川口広委員長 次に、各委員の自己紹介でございますが、既に皆様御承知の方ばかりだと思いますので、本日は省略いたします。



◎ 当局代表挨拶

- 川口広委員長 次に、当局を代表して、平原副市長より御挨拶がございます。

- 平原副市長 脱炭素・GREEN×EXPO推進局、みどり環境局を担当いたします副市長の平原でございます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

川口委員長、鴨志田副委員長、坂井副委員長をはじめ、委員の皆様方には今後、当委員会に関わる事務事業につきまして御審査をいただくこととなります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和9年3月19日に横浜GREEN×EXPOが開幕いたします。会場づくりや来場喚起に向けた取組、運営体制の充実などの準備を全庁一丸となって進めるとともに、GREEN×EXPOの理念を継承した郊外部の新たな活性化拠点の形成、横浜らしい循環型都市への移行を目指してまいります。

また、緑、農業、公園、環境保全といった環境施策をより一層推進いたしまして、まちの魅力や地域の活力を高め、誰もが心地よく暮らせるまちづくりを積極的に進めてまいります。

市民や企業の皆様をはじめ、横浜に関わる全ての方々と連携いたしまして取組を進めてまいりますので、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からの御挨拶といたします。

1年間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◇

◎ 局長挨拶及び職員紹介（部長職以上）

- 川口広委員長　それでは、脱炭素・GREEN×EXPO推進局関係に入ります。

初めに、折居局長の挨拶及び職員の紹介がございます。

- 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長　脱炭素・GREEN×EXPO推進局長の折居良一郎でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

川口委員長、それから鴨志田副委員長、そして坂井副委員長並びに各委員の皆様方におかれましては、この1年間、当局所管の事務につきまして御審査をいただくこととなります。

皆様方の御助言をいただきながら、まずは、あと開幕まで305日となりました横浜GREEN×EXPOの成功に向けて全力で取り組んでまいります。また、上瀬谷のまちづくり、そして脱炭素、循環型社会に向けた取組、これも局一丸となって進めてまいります。

我々、一生懸命頑張っておりますので、1年間、御指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、着座にて進めさせていただきます。

続きまして、当局の部長級以上の職員の紹介をいたします。

（職員紹介）

◇

◎ 事業概要について

- 川口広委員長　それでは、議題に入ります。

なお、当局からの発言に際しては着座のままで結構です。

事業概要についてを議題に供します。

当局の説明を求めます。

- 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長　それでは、脱炭素・GREEN×EXPO推進局の機構、事務分掌及び事業概要につきまして御説明いたします。

デジタルキャビネットに格納いたしました脱炭素・GREEN×EXPO推進局の機構図及び事務分掌を御覧ください。

表紙からお進みいただき、1ページ目にお進みください。

戦略企画部、脱炭素社会移行推進部、2ページにまいりまして、GREEN×EXPO推進部、上瀬谷交通整備部、上瀬谷公園企画部、3ページにお進みいただきまして、上瀬谷整備事務所の計6部12課の体制で業務に取り組んでまいります。

4ページ、5ページにつきましては、当局から派遣している職員につきまして、派遣先とその職員名を記載してございます。

なお、6ページから9ページでございますが、各課の具体的な事務分掌を記載してございます。

続きまして、令和8年度の脱炭素・GREEN×EXPO推進局事業概要について説明いたします。

令和8年度事業概要を御覧ください。

3ページにお進みください。

令和8年度脱炭素・GREEN×EXPO推進局運営方針についてでございます。

I、基本目標でございますが、中央の囲みの中を御覧ください。

脱炭素・GREEN×EXPO推進局では、サステナブルなグリーン社会の実現に向けて、脱炭素・循環型社会に向けた取組、横浜GREEN×EXPOの開催、上瀬谷のまちづくり、これら3つの取組を連動させて、一体的に推進をいたします。

4ページにお進みください。

長期ビジョンといたしまして、図の左側から、2027年横浜GREEN×EXPOの開催を契機に、脱炭素・循環型社会に向けた取組、さらには上瀬谷のまちづくりを加速させることで、サステナブルなグリーン社会の実現を目指してまいります。

5ページにお進みください。

II、目標達成に向けた施策でございます。

脱炭素・循環型社会に向けました取組、横浜GREEN×EXPOの開催、上瀬谷のまちづくりにおいて記載の施策を推進していきます。

III、目標達成に向けた組織運営でございます。

市民目線、スピード感、全体最適を第一に、積極的なコミュニケーション、連携を行うことで局が一体となり、具体的なアクションを生み出していく組織運営を行います。

6ページにお進みください。

脱炭素・GREEN×EXPO推進局予算総括表でございます。

一般会計は、網かけ部分の合計欄のとおり391億4270万1000円で、令和7年度と比べまして124億5051万4000円の増となっております。

7ページにお進みください。

市街地開発事業費会計でございますが、網かけ部分の合計欄のとおり183億4180万9000円でございます、令和7年度と比べ113億382万6000円の減となっております。

8ページにお進みください。

風力発電事業費会計でございます。網かけ部分の合計欄のとおり1億1824万6000円でございます、令和7年度と比べ2110万円の増となります。

続きまして、10ページにお進みください。

ここからは、主な取組につきまして、アンダーラインの部分を中心に御説明をまいります。

取組1、脱炭素・循環型社会に向けた取組でございます。

2030年度のハーフカーボン達成及び2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、これまでの温室効果ガスの削減効果や目標達成に向けた課題等を分析するとともに、市民の行動変容、事業者の行動変容、脱炭素イノベーション、市役所の率先行動の4本柱の取組や循環型社会に向けた取組を推進することにより、サステナブルなグリーン社会の実現を目指してまいります。

11ページにお進みください。

ここから、主な事業についての説明となります。

1、市民の行動変容といたしまして、横浜グリーンエネルギーパートナーシップ事業でございます。太陽光発電設備等の新規導入支援をさらに拡充し、省エネや再エネの創出、活用を推進するとともに、創出された環境価値を、市内で開催される大規模イベントで排出されるCO₂等のオフセットに活用するため、クレジット化を進めてまいります。

市民向け次世代自動車普及促進事業でございます。市民向けの燃料電池自動車の導入補助や集合住宅向けの充電設備の設置に対する補助を実施いたします。

12ページにお進みください。

次世代自動車インフラ整備促進事業でございます。公道や区庁舎への急速充電器の設置を進めるとともに、商業施設等に急速充電設備を設置する事業者への補助を行ってまいります。

13ページにお進みください。

脱炭素行動推進プロモーション事業でございます。YOKOHAMA GO GREENのスローガンの下、区役所や地域のような主体と連携をいたしまして、脱炭素行動を実践する場を創出してまいります。

地域における脱炭素化活動促進事業でございますが、ヨコハマ・エコ・スクール協働パートナー等と連携、協働し、次世代への環境教育を支援してまいります。

14ページにお進みください。

多様な主体と連携した暑熱対策事業でございます。市民の皆様が外出時に一時的に暑さをしのぐ場であるクールシェアスポットを拡充してまいります。

サステナブルプロジェクト事業でございますけれども、気候変動やSDGsについて考え、行動につなげる機会を市民、事業者の皆様と連携して創出し、また青葉区しらとり台地区では太陽光パネルの導入、泉区ゆめが丘駅周辺では衣類回収を実施いたします。

15ページにお進みください。

2、事業者の行動変容でございます。

事業者温暖化対策促進事業でございますが、大規模排出事業者の脱炭素の取組を促進するため、地球温暖化対策計画書制度を運用いたします。

事業者向け次世代自動車導入促進事業でございますが、電気バス、燃料電池バス等の導入補助を実施いたします。

16ページにお進みください。

サステナブルプロジェクト事業でございます。SDGsや脱炭素に取り組むための相談対応や活動支援を行い、また横浜市SDGs認証制度、Y-SDGsを通じまして、取り組む事業者の拡大を図ってまいりま

す。

集合住宅再生可能エネルギー電気導入促進事業でございますが、集合住宅向け高圧一括受電を提供する事業者に対しまして、一括受電化に必要となります受変電設備等の設置に係る費用を補助いたします。

17ページにお進みください。

3、脱炭素イノベーションでございます。

脱炭素先行地域推進事業につきましては、みなとみらい21地区の脱炭素化を進めるため、省エネや再エネの導入を推進するとともに、熱の脱炭素化に取り組みます。また、資源循環の取組など、地域課題の解決を図ります。

18ページにお進みください。

水素等次世代エネルギー・カーボンリサイクル推進事業でございます。水素等の次世代エネルギーの需要創出に向けた事業者への設備導入費に対する補助を実施いたします。また、カーボンリサイクルの市内循環に向けた検討などに取り組んでまいります。

19ページにお進みください。

再エネ広域連携等事業でございます。再エネ資源を豊富に有する自治体や事業者の皆様と連携をいたしまして、再エネの供給拡大と相互の地域活性化につながる交流を進めてまいります。

次世代型太陽電池活用推進事業におきましては、ペロブスカイト太陽電池や建材一体型太陽電池等の社会実装に向けまして、企業の技術開発を後押しするとともに、新技術の普及啓発に取り組んでまいります。

20ページにお進みください。

4、市役所の率先行動でございます。

公共施設再エネ等導入推進事業でございますが、PPAを活用し、令和8年度は市立中学校やスポーツセンター等で設置工事を進めるとともに、令和9年度の事業者公募に向けた調査を行います。

21ページにお進みください。

公用車用充電設備の設置でございますが、区役所や土木事務所等への公用車用充電設備設置を支援いたします。

22ページにお進みください。

市役所RE100推進事業でございます。令和9年度までに、市民に身近な区や区庁舎の照明LED化100%を達成できるよう、令和8年度は泉区などで設置工事を実施し、設計を鶴見区などで実施いたします。

23ページにお進みください。

ハマウイングの運用でございます。再生可能エネルギーの利用促進や普及啓発に資する取組といたしまして、ハマウイングを運営いたします。

エネルギーマネジメント事業でございます。温室効果ガス排出量等に対する情報を庁内システムで管理をいたしまして、市役所の削減目標の達成に向けた進捗状況を把握してまいります。

24ページにお進みください。

5、循環型社会に向けた取組でございます。

地区の資源循環の可視化を通じた資源循環の取組創出でございますが、みなとみらい21地区内で収集しましたデータに基づきまして、地区内に投入される資源や排出される資源の量と、これらのうち循環される量、これらの可視化を行います。

脱炭素ライフスタイル浸透事業でございますが、廃棄物を発生させないライフスタイルへの転換に公民連携で取り組むことで、循環型社会の形成につなげてまいります。

続きまして、27ページにお進みください。

全市的な脱炭素施策、カーボンニュートラルの推進に向けた取組でございます。

全庁一丸となって、4本柱を中心とした脱炭素施策を推進してまいります。

28ページから29ページにかけて、柱ごとの各局の主な取組を掲載してございます。

30ページにお進みください。

取組の2、横浜GREEN×EXPOの開催でございます。

いよいよ令和9年3月19日に横浜GREEN×EXPOは開幕を迎えます。横浜が描くグリーンな社会を発信し、地球に優しい暮らしを共有いただく場である出展や、会場を彩る花の管理、運営サポートと一緒に盛り上げていただくボランティア等への参加などを通じまして、市民の皆さんと共につくり、愛される博覧会を実現してまいります。

31ページにお進みください。

①横浜市の出展・発信、それから②市民参加の取組、③開幕に向けた会場づくり、④安全で円滑な交通輸送の実現、⑤来場喚起に向けた取組、これを進めまして国内外の皆様をお迎えいたします。

32ページにお進みください。

1、横浜市の出展・発信でございます。

建物空間を活用した発信拠点では、地球に優しい暮らしや身近な環境との関わりを体感いただくため、Urban GX Villageに建物空間を活用した発信拠点を設けます。また、SATOYAMA Villageにおきましては、環境活動団体などの市民の皆様が活動・活躍する場として、フィールドを活用した活動拠点を設けてまいります。

横浜市の取組や魅力の発信でございます。横浜ウィークや区民活動日を契機に会場内外の広がりを生み出し、にぎわいを創出し、環境問題に関する体験を通じ、グリーン社会の実現に向けた環境意識の向上や行動変容につなげてまいります。

33ページにお進みください。

市民参加の取組でございます。

未来を担う子供たちに向けた取組でございますが、子供たちが地球規模の課題を自分事として捉え、グリーン社会への意識を高めるきっかけとなるよう、市立中学校を対象に学校招待の企画準備を進めます。あわせまして、市内在住の子供を対象とした、こども招待も実施いたします。

ボランティアをはじめとする市民参加の取組でございますが、横浜GREEN×EXPOを共に盛り上げ、支えていただくパートナーであるボランティアの皆様方が円滑に活動できますよう、準備を進めてまいります。

34ページにお進みください。

STYLE PARTNERSを通じた取組の発信でございます。横浜で地球に優しい暮らしを実践する皆様のスタイルを発信し、グリーン社会の実現に向けたムーブメントを加速させていきます。また、STYLE実践者同士がつながり、全市的なアクションに広げていくSTYLE PARTNERSを通じまして、横浜市出展をはじめとする横浜GREEN×EXPOの会場内外で地球に優しいSTYLEを広げてまいります。

35ページにお進みください。

3、開幕に向けた会場づくりでございます。

会場建設の推進でございますが、会場建設費のうち地方自治体負担分の本市分を補助金として協会に支出いたします。また、民間負担分等につきまして、民間企業からの寄附金、企業版ふるさと納税を負担金として協会に支出をいたします。

建築物の再利活用に向けた取組でございます。大阪・関西万博の大屋根リングの部材を会場内で再活用する取組や、会場で利用した施設を本市の広域防災拠点の施設として継続利用するための調査等を実施してまいります。

36ページにお進みください。

4、安全で円滑な交通輸送の実現でございます。

横浜GREEN×EXPO開催時における市民生活と社会経済活動の維持や来場者の安全・円滑な移動を実現していくために、交通環境の整備や交通需要マネジメント、TDM等の取組を進めます。また、協会と連携をし、横浜駅、新横浜駅等の拠点や都心臨海部と会場を結ぶ直通アクセスの具体的な検討を進めていきます。

37ページにお進みください。

会場やシャトルバス乗降4駅周辺の交通環境の整備でございます。生活道路の安全対策やボトルネックとなる交差点の改良、駅前広場の機能向上など、交通環境の整備を進めてまいります。

横浜GREEN×EXPO期間中の交通円滑化に向けた取組でございます。交通容量の拡大や来場者の分散、平準化の取組に加え、交通混雑のリスクをさらに低減するため、交通需要マネジメントの取組を進めてまいります。

38ページにお進みください。

安全・快適に移動できる歩行者空間の創出でございます。瀬谷駅から会場までは徒歩や自転車によるアクセスが想定されますことから、多くの歩行者や自転車が安全に通行できる空間づくりを進め、横浜GREEN×EXPOを感じられる装飾などによりまして、会場に近づくにつれて期待感が高まる空間をつくり上げてまいります。

39ページにお進みください。

5、来場喚起に向けた取組でございます。

開幕に向けました広報・プロモーションでございますが、開催都市といたしまして市民の期待感や高揚感、来場意欲の醸成を図り、来場者への歓迎ムードを創出するため、まち全体で広報、プロモーションを実施いたします。また、トウクトウクの大規模イベントへの出演やモニュメントの設置等により、ファミリー層や若年層など、幅広い世代に愛着や親しみを持っていただけるよう、広報、プロモーションに取り組んでまいります。

40ページにお進みください。

続きまして、取組の3、上瀬谷のまちづくりでございます。

土地区画整理、公園整備、周辺道路整備、新たな交通整備、インターチェンジ整備事業等が連携をいたしまして、豊かな自然環境を生かした農業振興と都市的土地利用による郊外部の新たな活性化拠点を形成し、郊外部全体の発展に寄与するまちづくりを進めてまいります。

41ページにお進みください。

1、土地区画整理事業でございます。道路、上下水道、調整池等のインフラ及び農地の整備、関係者と将

来の土地利用に向けた具体的な協議や地区計画の都市計画等の手続を進めます。

42ページにお進みください。

2、広域防災拠点となる公園整備事業でございますが、横浜GREEN×EXPOの開催を見据え、植栽、園路の舗装、パークセンターやトイレなどの整備を進めます。また、開催後の整備に向けまして、公園計画の検討等を進めます。

43ページにお進みください。

3、周辺道路整備事業でございます。上瀬谷周辺の日常的な渋滞解消、横浜GREEN×EXPO開催時の円滑な交通の確保、新たなまちづくりに向けまして、目黒交番前交差点の立体化整備の完了、八王子街道の車道拡幅及び瀬谷地内線の暫定開通を予定してございます。

44ページにお進みください。

4、新たな交通整備事業・インターチェンジ整備事業でございます。新たな交通整備事業におきましては、本市西部地域において、誰もが移動しやすい持続可能な交通ネットワークの構築を目指し、瀬谷、上瀬谷間の専用道の整備に向けた詳細な設計、都市計画等の手続を進めてまいります。

インターチェンジ整備事業におきましては、広域防災拠点の機能を最大限に発揮させるとともに、安定的な物流の確保を目指し、施設計画の詳細な検討や都市計画等の手続を進めてまいります。

45ページ以降につきましては、一般会計などの総括表と内訳、債務負担行為、主な財源創出の取組を掲載しておりますので、後ほど御確認ください。

説明は以上でございます。

○ 川口広委員長 説明が終わりましたので、質疑等に入ります。

○ 花上喜代志委員 御説明いただいて、ありがとうございました。

いよいよ305日ですか、GREEN×EXPOまで。

今までは、GREEN×EXPOが開催されるということについての認知度が低いとよく言われていましたが、現在ではどのくらいの認知度になったのか教えてください。

○ 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長 我々のほうの調査、市内の皆様方への調査でございますが、平均として、各区で若干ばらつきがございますけれども、18区でばらつきありますけれども、平均しますと80%、認知は超えております、横浜市内につきましては。

我々としては目標は90%に置いていたのですが、そこには若干届かなかったものの、認知度というのは着実に上がってきています。ですので、我々としては、これからは認知度の向上のみならず、やはり来場喚起という方向に目標を置きながら、さらなる機運醸成を図っていきたいと考えています。

○ 花上喜代志委員 おっしゃるとおり、目標の90%には届かなかったとはいうものの、随分話題が出てくるようになったなと思うのですよね。

今、マスコットキャラクター、そこに置いてありますけれども、我々がつけているバッジだとか、そういったことについての関心も非常に高まってきて、トウクトウク、これについて、バッジを買いたいなんていう、そういう声もかなり聞こえるようになってきたなと思うのですけれども、今のこういう状況というのを、どのように局長捉えているか教えてください。

○ 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長 今、委員御指摘のとおりでございますけれども、かなり多くの方々にトウクトウクが浸透し始めているなということで、かなり愛されつつあるのではないかと思います。

大阪のミyakミyakと比べるとまだ低いところあるかもしれませんが、それに並ぶぐらいまで、これから伸びていくんだろうという手応えは感じています。

そういった意味で、今こういったグッズを販売している場所も限られてはいるのですが、我々としてもなるべく市民の皆様との身近で購入いただけるような取組も今調整はしておりますので、できるだけ多くの方々にアクセスをしていただいて、愛されキャラとして、これからトゥンクトゥンクと市民の皆様と一緒に盛り上げていければと考えております。

- **花上喜代志委員** 大阪のミyakミyakの話、ミyakミyakは当初はあまり人気がないような話がありましたが、次第に盛り上がってきたということも聞いておりますけれども、それに比べるとトゥンクトゥンクはかなり好感を持って受け取られているのではないかなという、そんな印象を受けるのですけれども、そうではないですか。
- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 私が感じている状況ですと、非常に愛らしいといえますか、そういうふうに関心を持って見ていただく方が増えつつあるという状況だと思います。
- **花上喜代志委員** そういうことで、大阪・関西万博は当初から、開幕前からネガティブな話がかかなりあって、成功できないのではないかと、そんな心配の声がかかなりありましたけれども、結果的には2500万人を超える来場者で大成功、それで入場者の数だけではなくて財政的にも予想を超えるような、そういう収入が得られたという、そんな結果を見て、こういう国際イベントというのは次第次第に盛り上がっていくのかなと思いますけれども、大阪・関西万博見て、どのように受け止めているか教えてください。
- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 大阪・関西万博は総じて、最初は確かにネガティブな報道とかあったかもしれませんが、途中からは大盛り上がりで、最後は大成功に、ある意味終わったと思います。それは、やはり多くの市民や企業の皆様方に興味を持っていただいて、参加をいただいて、そしてミyakミyakもかなり売れてという、全てが盛り上がったと、熱がすごかったと思います。
我々も大阪・関西万博の熱を引き継いでおりますので、そういうふうに関心を持っていただく、一緒に盛り上げていきたいと考えています。
- **花上喜代志委員** 横浜の国際園芸博覧会についてはなかなか盛り上がりがないのではないかと当初言われていたものが、先ほどの御説明のように、目標の90%には届かないけれども八十数%の認知度になってきたということで、次第次第に認知度も上がって、盛り上がりを見せているなど、そんな感じを受けていますけれども、さらに入場者を増やしていくための取組というのが非常に大きいと思うので、イメージキャラクターだけではなく、入場券の販売、これも我々に、どこ行ったら買えるのですかと、既に売出しを始めているので、そういう市民などの声が聞こえてきているのですけれども、現状、入場券は、販売についてはどんな状況になっているか教えてください。
- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 販売状況というのは、今、協会のほうでまとめておまして、近いうちに、どれだけ売ってきたかというのを継続的に公表していく準備をするということで、今まだちゃんと把握できていないのですけれども、いずれにしても今SNSとかインターネットとか、電子機器での申請というのは、皆さんに御案内ができて、ある程度スタートしているのですが、紙の媒体でも販売というのは当然やっています。それは、今イベントの会場とかで販売をしたりして、そのイベントではかなり多くのチケットが売れたりもしています。

ですので、やはり様々なところでもう少し、チケットをどういう方法で今販売していますよというのを、

できるだけいろんな機会でアナウンスをしていくということが続けていくことによって、一般の方々の購入というのは進むのではないかなと感じています。

- **花上喜代志委員** まちの声は、インターネットで買えるという話があるにしても、なかなかよく分からないという、そういう方々もおられるので、紙のチケットに対する要望というのかなり我々に聞こえてくるのですけれども、市民の方々がチケットを買う具体的な窓口、どこでどうやってやれば買えるのかという、分かりやすい周知というのが必要だろうと思いますけれども、そのあたりについて、今どんな工夫をしているのか、それを教えてもらえますか。

- **五十嵐担当理事** 今、委員の御指摘のとおりでございまして、様々な方々がいろんなチャネルで販売を受けられるということが重要だと思っております。既に券売についても一部の旅行代理店などの販売も始まっております、その輪を広げるべく、今、協会のほうでは努力をしていると聞いております。

また、先ほど局長御説明いたしましたけれども、ゴールデンウィークにパシフィコ横浜で行われましたフラワー&ガーデンフェスティバルなどにおいても出張販売なども行われておりまして、かなり多くの方々に御購入いただいたとお伺いしております、我々としてもそういった状況などを市民の方々に広く周知をしていきたいと考えております。

- **花上喜代志委員** それで、世界イベントなので外国の方々もかなり会場を訪れるということになってくると思うのですが、外国人に対する取組、こういったことについて、現状七十何か国が出展すると聞いていますけれども、出展の状況と、具体的な外国人の方々をお迎えするための取組というのはどんな工夫しているのか教えてください。

- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** まず、海外の出展なのですが、公表していいところと、整わない国もございまして、今、私が言える範囲で言いますと、63か国、5国際機関の参加が公表済みでございまして、公表されていないところでそのような意思を持っている国々もありますので、私が言えるのは63か国、5機関ということでございます。

それから、海外の方々に対しましては大きく2つございます。

1つは、いわゆる儀典的な形、いわゆる関係者の、多くの高官の方とかいろいろな方が当然お越しになられると。これに対しては儀典というところでしっかりとおもてなしをもってお迎えできるよう、国、それから協会、横浜市で調整を始めているところでございます。

それから、いわゆる一般参加のような形で多くの方々が横浜の観光も含めて訪れるようなことは、一生懸命、我々としても誘致といいますか、ぜひ来てくださいというアナウンスをしていかなければいけないと考えています。

そういった意味では、例えばなのですが、海外事務所もございまして、例えば上海事務所とか、そういったところでは、上海事務所ですと中国の本土の中でGREEN×EXPOを中国語でPRしていただいて、ぜひお越しくださいですとか、あるいは旅行会社に働きかけて、そういうツアーを組んでくださいとか、いろんなチャネルで我々横浜市としてもやれることは進めているところでございます。

- **花上喜代志委員** そこで、海外の方々も大勢お見えになるということなので、GREEN×EXPOの会場においていただくということが大事なのだけれども、おいでになった方々が横浜全体のいろんな魅力を知っていただくための、そういう広域的な取組というのは大事ではないかなと。

トライアスロンが2日間終わって、物すごい盛況でしたよね。おいでになった方々は、トライアスロンの

競技を見るだけではなくて、中華街をはじめとする飲食、それから宿泊、いろんなことで効果が目に見えた形であったと、こういうふうに思うので、国際園芸博覧会はそれにも増して大きなイベントなので、多くの宿泊施設、そういったものも含めた全体的な経済効果、こういったことに対する取組方、これも大事だろうと思うのですけれども、どんなような取組をして、見通しを持っているのか、それを教えてください。

- 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長　今、委員おっしゃるとおり、非常に横浜にとって、宿泊もいただいて、それから多くの方にお越しいただいて、観光も楽しんでいただくと。当然GREEN×EXPOの会場にもお越しいただくと、これは非常に大切なことだと考えています。

そういったことから、例えばにぎわいのことですか経済のことですか、いろんな広範囲の施策を行っている部署と連携をいたしまして、様々な機会を捉えて、これを一体的に進めようということで協議は進めています。ですので、既に、直近のイベントもそうですし、これから横浜開港祭、いろんなことありますけれども、必ずそういったところにはGREEN×EXPOのPR、それから横浜の紹介というものをセットでやっとうこと。さらには、GREEN×EXPOの開催期間中も連携をして、様々なイベントを会場内外で行いながら、活性化を図っていききたいということで進めているところでございます。

- 花上喜代志委員　次に聞きたいのは交通対策なのですが、先ほどの御説明にあった瀬谷駅ですね。瀬谷駅が一番最寄りの拠点駅ということなので、以前から市のほうにも要望が届いていたと思いますけれども、これだけ1000万人以上の方々がお見えになるビッグイベントで、相鉄線の拠点駅である瀬谷駅、ここに特急を止めてくれということの前から僕も要望してきましたけれども、これは特急を止めなければいけないうことだろと思うのだけれども、それについては今どこまで話が進んでいるのか教えてください。

- 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長　委員からも昨年度来、そのようなお話をいただいて、具体的に相模鉄道と、あるいはホールディングス等と、いわゆる調整といいますか、お話しはしています。しかしながら、やはり多くのコストがかかるんですね。優等列車を止めるということはおかかりますし、あとそれなりのいろんな対策が要するというので、はいという形にはなかなか難しいと。

しかしながら、こういうビッグイベントでございますし、対話を続けながら、やれること、1つのことだけではなくて、優等列車を止める代替も含めて、何ができるかということは今継続して協議をしているところでございます。

- 花上喜代志委員　今のお話はいかがなものかなと聞いていますけれども、相模鉄道に多くのお客様がおいでになって利用すると、こういう状況が目に見えているわけですね。多いときには10万人以上が会場にお見えになると、そういうことになれば、瀬谷駅だけではありませんが、周辺の最寄り駅に多くの方がお見えになる。

そのための交通対策というのはしっかり進めていかなければいけないので、一番最寄りの瀬谷駅に特急が止まらないなんてあり得ないと、これを僕も相模鉄道にも言ってきたけれども、何で今みたいな話になっているのか理解に苦しみますが、このあたりはどうなのですか。

- 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長　我々もそれは誠心誠意、このイベントのことと、それから地域の活性化とかいろいろ考えまして、お話しはお互いさせていただいているところです。

しかしながら、当然いろんな制約なり、先ほど申しましたコストがかかるとか、いろんなことございますので、今、丁寧にそこはお互い対話をしながら、できることを探っているということでございますので、決して力を抜いてとかではなくて、やはり向こうの企業様にとっても簡単にできることでもないというところ

が分かってまいりましたので、しっかり対話を進めていきたいと思ひます。

- **川口広委員長** 平原副市長は他の委員会に出席のためここで退席されますので、御了承願ひます。
- **花上喜代志委員** 続きですけれども、GREEN×EXPOの会期中だけではなく、その後、テーマパークも上瀬谷にできるという話で、上瀬谷のテーマパークは1年間に1500万人のお客様を集めましよう、こういう計画だと聞いていますけれども、将来を見据えても、相模鉄道だけではなく、最寄りの鉄道、バス会社、こういったところについては十分利益がというか、売上げが見込める、そういう状況が目に見えているのだから、特に相模鉄道は最寄りの直近の駅なので、当然のことながら将来を見据えて投資をしていくというのが当たり前だと思うのだけれども、何で難航しているのかなど。

費用のことを今おっしゃっていましたが、投資をした後の収益が見通せない、そんなようなことあり得ないと思うのだけれども、別に相模鉄道に悪意を持っているわけではないので、地元の鉄道会社なので、ぜひとも将来の相模鉄道にとっても非常にメリットのある、そういう計画が次々と具体的に明らかになっているので、当然のことながら将来を見通して投資をしていくと、こういう企業の方針というのがあっていいのかなと思うのですけれども、どうなのでしょう。

- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 私もそういうところも大切な視点だと思っておりますので、そういう視点を持ちながら、企業様と本当に今交渉していると、継続して交渉しておりますので、引き続き交渉を続けさせていただきたいと思ひます。
- **花上喜代志委員** その交渉のやり方なただけけれども、投資が巨額に及ぶ、そういうような考え方が相模鉄道から示されているのかもしれませんが、ということであれば行政として、市だけではありませんが、国も含めて、相模鉄道やあるいは最寄りの鉄道会社などに対してそれなりの助成策を考えていくというのも大事なことでないかと思うのだけれども、そういったところまで踏み込んだ議論はしているのですか。
- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 横浜GREEN×EXPO開催後のまちづくりにつきましても、新たな交通とかも含めまして、今、我々のほうでも詰めているところございます。

ですので、そういったところと併せて、全体として郊外部の活性化拠点、それから西部地域の交通の円滑化、これらを総合的に考えながら、そこの中の一つの手法として組み込みながら交渉していきたいと思ひますので、今そこにつきましてはいろいろ我々のほうでもまだ整理中のところございますので、そういう視点で継続してやっていきたいと考えております。

- **花上喜代志委員** 現在進行形でまだ駄目だという結論でもなさそうだから、今後、来年3月に国際園芸博覧会が開幕した後、何で特急が止まらないんだという、そういうことになると、相模鉄道にとってもイメージが悪いだろうし、それでそれは本市だけではなくて、行政ももっと応援してやったらよかつたのではないかと、いろいろな話が出てくる可能性があると思うので、あえて今申し上げているのですけれども、今後まだまだ話合いの場が設けられると思うので、ぜひとも強く、鉄道利用者本位で物事を進めていただくように、相模鉄道には強く申し上げていただきたいと、その決意を聞かせてもらえますか。
- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 我々も横浜市民の代表として、しっかりとそこを気持ちを持って交渉に当たっていききたいと思ひます。
- **川口広委員長** ほかにいかがですか。
- **古谷靖彦委員** ありがとうございます。

今日、事業概要なので細かな質問は次回に回していきたいと思ひますが、1点だけ質問させていただきます。

フラワーガーデンフェスティバル、私、所管ではないと思うのですけれども、行ったんですけれども、非常に盛況だったことは承知しています。年齢層も非常に豊かな、お子さんから、年齢層豊かだと思って、実感してきました。

その中で、GREEN×EXPO、会場整備が今進んでいると思うのですけれども、今の中東情勢の影響の中で国内の経済状況にも、経済活動にも様々な影響が今与えられています。

建設業界などでも合板が手に入りづらくなったということも聞いていますし、そういうことを聞いている中で、現在のGREEN×EXPOの整備工事の中で影響を受けていることがないのかというのをまず伺います。

○ 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長 我々も、今、業者を含めまして注視をして、情報を集めております。

そういった中で、全く影響がないのかというと、それはないです。やはり価格が、アスファルトの合板ですとか塩ビ関係、いわゆるナフサを使ったようなものというのは若干値上がり傾向があるということと、それから調達しにくくなった、全く入らないとかいうことではなくて、しにくくなったというお話は複数聞いております。

ただ、GREEN×EXPOにつきましては、いわゆる1層目の基盤と言っていますけれども、土地区画整理事業、それから公園の整備事業、これは横浜市が発注ですが、これはほぼ工事が進んでおりまして、調達についてもほぼ終わってきているということから、大きな影響はないというのが現状です。

それから、協会の工事は今いろいろやっておりますけれども、これももう工事が着手していますので、これから全部ゼロからというのは、ないわけではないのですが、若干、当然、管の調達とかありますけれども、そんなに影響は大きく受けないという中で、そうはいつでもそういう状況がございますので、物価上昇とか調達しにくいというのがありますので、そこはしっかり聞きながら、今やっています。

そういった中でいうと、今現在すぐに工事が遅れるとかお金が足りないとか、すぐにそういうことが今あるかという、そこまでではない。ただ、そういう懸念の中で、今、業者の皆様方も一生懸命努力をしながら、何とか完成に向けてやっていると、これが現状でございます。

○ 古谷靖彦委員 ありがとうございます。

これ、本当に週単位で状況が実は変わっているなと思っているので、そこはぜひ、もちろん成功させたいということでバイアスがかかることもちょっとあるのかなと思うので、そこは冷静に見ていただきたいというのと、工事現場を見たときに、私もちらっとそういう話を聞いていますので、そういうことについて、どうしていくのかということは考えなければならないこと、リスクヘッジとしても考えなければならないことだと思うのです。

伺うのですけれども、今後の整備費の再度の見直しということも考えられることがあるのかなのか伺います。

○ 折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長 整備費、会場建設費でございますけれども、当初、物価上昇等も見込んで、一度、会場建設費もアップもさせていただいていますので、その見込んでいるところを当然逸脱するような事態が、これから情勢分かりませんが、なってくるとすると、それはある意味どうしていくのかは考えなければいけないとはなるかと思いますが、今の時点ではまだその範囲に収まっていますので、状況を見ながら、我々もいろいろジャッジしていきたいと思えます。

○ 古谷靖彦委員 ありがとうございます。

今、質問させてもらった2点というのは非常に心配をしておりますし、もしかしたら悪い状況になりかね

ないなと思っていますので、私ももちろん注視しますし、皆さんにもお伝えをしていきたいと思うのですが、ぜひ現場の状況を確認いただいて、お願いしたいと思います。

今日はこの程度にしておきます。

- **梶村充委員** GREEN×EXPOの話はいいのですが、44ページ、新たな交通整備事業とさらっと書いてあるのだけれども、私も長いことやっていまして、東部方面線、相鉄、JRの直行線とか、相鉄、東急の直行線とかと言いながら、いわゆる運輸政策審議会の、東部方面線をそこに当てはめて、上下分離だとか都市鉄道等利便増進法とか、いろんな法律作りながら電車つくってきたわけだね。

やっとな整備出来上がって、30年ぐらいかかってやったのですが、さらっと書いてありますけれども、横浜市だけでとてもやれるわけではないだろうし、公共交通、これも、いわゆるレールでやるのか、バスでやるのか分かりませんが、そういったことを決めていくに当たって、やっぱりある程度大きな目標がないと、昔、海上鉄道という運輸政策審議会の答申があったのだけれども、その辺と絡んでやったりすることも考えているのですか。

- **落合上瀬谷交通整備部長** 今、新たな交通の整備、資料で御説明させていただいたとおり、本市の西部地域の上瀬谷を中心に、バス等の公共ネットワークがないところを中心に交通ネットワークをつくらうということでやらせていただいています。

委員、今御指摘ありました環状鉄道については、環状鉄道は環状鉄道が必要ということでやらせていただいている、バスはまたバスで地域のために必要ということで続けさせてもらっているという、今、検討状況でございます。

- **梶村充委員** これは、環状4号線をバスで通すといったようなお話なのですか。
- **落合上瀬谷交通整備部長** 瀬谷駅を中心に本市西部地域で環状4号線が南北に縦貫する、大変重要な道路になってございまして、その道路の空間を使ってバスを走らせようということでやってございます。

環状になるように新たな交通をやらうということまではいっていないのですが、西部地域で瀬谷駅を中心に、立場方面から瀬谷を通って十日市場方面、その交通ネットワークをつくらうということで検討を進めさせていただいております。

- **梶村充委員** バスでは対策 けれども、いずれにしても上下分離というか、そこを誰がやるのか、また上物を誰が使うのかとか、そういったことを決めていかないとなかなか先に進まないし、またこれをダブルコアのまちづくりということの一環に入れているわけですよ。そうすると、やはりそこまでの考え方を持たないと、大きな交通手段を持たないと、なかなかダブルコアということにはならないと思うんだよね。

だから、その辺の考え方というのをどういうふうに、例えば運輸政策審議会をそこへ入れてやれば国費も使えるかなとかということがあるではないですか。その辺ぐらゐの大きな考え方を持ってやってもらいたいなと思うのだけれども、どうでしょうか。

- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 今、委員御指摘のとおりでございまして、我々としても今、国との、当然交渉ですとか、あと先ほどバスと言いましたけれども、これは地下にトンネルを掘りまして、専用で連結バスを走らせたいなということで今考えているのですが、その運行をする事業者、バス会社とか、そういった方々との話し合いあるいはそういった方々での検討が始められるよう、今いろいろな準備を、座組みをしておりますので、これらをまとめて、事業者の方は横浜、それから国と調整をしながら一体的に進められるように進めていきたいと考えております。

- **梶村充委員** 都市整備のほうでは、東名インターを使った物流の自動化だとか、脱炭素のやり方だとかということ、大きなことを考えている方々も今たくさんいるわけですよね。そういった方々とも一緒になって、それをつくるに当たっては、やっぱり何とんでも交通インフラがないと、なかなか発展していかないと思うのですよね。

やっぱり公共交通を考える起点、大きな一つのものとして、環状鉄道とか、いろんな構想が今まであったから、そういったものを含めてぜひ考えるようにお願いしたいと思います。それが泉区のほうにも当然普及してくるので、そういうことでお願いしたいなと思います。

- **久保和弘委員** 先ほどほかの委員からもありましたGREEN×EXPO時の輸送についてでありますけれども、先ほど花上委員のほうから、かねてより特急のというお話がありましたけれども、いわゆる優等列車の停車についてでありますけれども、様々、相模鉄道側にも御苦労があるということでありましたけれども、素人が意見するわけではありませんけれども、よく言われる、前年度も申し上げたことがあるかもしれませんが、スポーツの輸送で有名な阪神電鉄は本当に旅客輸送の名人だということで昔から言われていまして、そういう中で専用列車といいますか、要は輸送だけのための特急を停車するわけではなくて、いわゆるノンストップ特急だとかノンストップ何々という電車を出したりとか、いわゆる臨時列車の増発とか、そういう手法もあるのではないかと個人的には考えるわけでありまして、そういう様々な手段、上りと下りの電車のダイヤが違う千鳥式運転を採用したり、様々やっておるわけなのですが、そういう様々な選択肢の中から優等列車が止められないという判断で現状いらっしゃるのか、決意としてはしっかり調整、今後前向きにやっていくというお話がありましたけれども、私が申し上げた専用列車みたいなものを増加するという、そういうこととかも検討はなさっているのでしょうか。

- **折居脱炭素・GREEN×EXPO推進局長** 委員おっしゃるとおりでございまして、様々な方法を、我々としては、こういうことはできないだろうかということで御提案を差し上げながら、調整、検討を進めているところでございます。

- **久保和弘委員** 今日はこれ以上申し上げませんが、そういう声も地元から、やっぱりありますので、大事にさせていただきたいということと、1点だけ、話のついでと言ったらあれなのですが、いわゆる道路の改良ということで、車の渋滞の緩和ということで道路改良を今やっただいていてということで説明を受けていて、1点だけ要望みたいなものなのですが、瀬谷四丁目という交差点が車線変更したわけなのです。その結果、非常に交差点が、車線の動線が変わって危ないという声を、実は結構いただいているのですね。

ということもありますので、当局といたしましては、交通渋滞をしない、緩和を目指しておられるというのはよく承知しているところでありまして、そこは私も応援させていただきたいのですが、その結果、違うところにひずみが出てきたという声も、やはり地元から複数、結構いただいておりますので、そういうところも県警としっかり、瀬谷警察署のほうと調整しながら進めていきたいということをお願いしておきたいと思います。

以上になります。

- **川口広委員長** ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

(発言する者なし)

- **川口広委員長** 他に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。
- 以上で脱炭素・GREEN×EXPO推進局関係の議題は終了いたしましたので、次にみどり環境局関係に入ります。

当局参集の間、休憩いたします。

休憩時刻 午後2時55分

(当局交代)

再開時刻 午後2時57分

- **川口広委員長** それでは、委員会を再開いたします。

◎ **局長挨拶及び職員紹介（部長職以上）**

- **川口広委員長** みどり環境局関係に入ります。
- 初めに、田口局長の挨拶及び職員の紹介がございます。
- **田口みどり環境局長** みどり環境局長の田口香苗でございます。どうぞよろしく願いいたします。
- みどり環境局を代表しまして、一言御挨拶申し上げます。

川口委員長、鴨志田副委員長、坂井副委員長をはじめ委員の皆様方には、今後、当局の事務事業につきまして御審査いただきます。どうぞよろしく願いします。委員の皆様からの御指導、御助言をいただきながら、緑、公園、農業、環境保全といった環境施策について迅速かつ的確に応えられるよう、職員一同頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、続きまして、みどり環境局の部長級以上の職員について御紹介いたします。

(職員紹介)

◎ **事業概要について**

- **川口広委員長** それでは、議題に入ります。
- なお、当局からの発言に際しては着座のままで結構です。
- 事業概要についてを議題に供します。
- 当局の説明を求めます。
- **田口みどり環境局長** それでは、みどり環境局の機構及び事務分掌と事業概要につきまして御説明いたします。

デジタルキャビネットに格納しております資料を御覧ください。

表紙からお進みいただき、1ページを御覧ください。

みどり環境局の機構について御説明いたします。

1ページにあるように、部といたしましては戦略企画部、総務部、公園緑地部、2ページにいていただき、農政部、3ページの環境保全部の5部の体制となっております。それぞれの部の部署名、役職名とその職員名を記載してございます。また、3ページの下段には、当局から国や外郭団体等に派遣している職員について、派遣先とその職員を記載してございます。局としては20の課と事業所がございます。

また、事務分掌につきましては次の4ページから11ページに記載しておりますので、後ほど御覧ください。

続きまして、みどり環境局の事業概要について御説明します。

令和8年度事業概要とある資料を御覧ください。

ページ進んでいただいて、事業概要の2ページ目には目次を記載しております。

続いて、3ページを御覧ください。

1、令和8年度みどり環境局運営方針について御説明します。

4ページを御覧ください。

まず、Iの基本目標ですが、令和8年度は、現在策定を進めている、市民の実感を最上位目標とした横浜市中期計画2026～2029の初年度となります。市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら取組を推進し、市民生活の安心・安全と横浜の持続的な成長・発展、そして明日をひらく都市の実現につなげてまいります。

下の囲みの左側のピラミッドのような図ですけれども、中期計画の構成を示しています。

総合的な取組として、①4年間で重点的に進める戦略や取組、②市政の基礎となり、日々の生活や活動を支える個別分野別計画、業務サービスなどとし、横断的な取組として、③循環型都市への移行などに取り組むこととしています。

右側ですが、みどり環境局では、中期計画を踏まえ、以下に示す取組を推進します。

緑色の四角にあるように、基本目標を、豊かな水・みどり環境、快適な生活環境を未来へととして、まちの魅力や地域の活力を高め、自然と共に心地よく暮らせるまちづくりを進めることといたしました。

そして、その下に、今年度のみどり環境局の主な施策として、横浜GREEN×EXPOの開催と関連事業の推進、みどりや公園を生かしたまちの魅力づくり、活力ある都市農業の推進、良好な生活環境の保全を進めてまいります。

なお、各施策の右側の①から③の数字は、左側のピラミッド図の数字に対応しております。

5ページを御覧ください。

II、目標達成に向けた施策です。

ページ左側の横浜GREEN×EXPOの開催と関連事業の推進に取り組むとともに、右側の、みどりや公園を生かしたまちの魅力づくりを進めてまいります。

なお、このページの一番下に記載のあるとおり、Iの基本目標で示した①4年間で重点的に進める戦略や取組、③横断的な取組に関連する主な施策には、これ以降、新中期のマークをつけています。

6ページを御覧ください。

5ページの施策と併せ、ページ左側、活力ある都市農業の推進と、右側、良好な生活環境の保全に取り組んでまいります。

7ページを御覧ください。

III、目標達成に向けた組織運営ですが、豊かな水、みどり環境、快適な生活環境を未来につなぐため、市民の実感を重視し、みどり環境局職員、みどり環境施策に従事する土木事務所の職員が一丸となって施策に取り組んでまいります。

具体的な取組として、(1)市民の実感につなげる信頼と責任のある業務遂行、(2)全ての職員が意欲と能力を発揮できる組織づくり、(3)多様なワークスタイルの推進の3つを挙げています。

次に、右側のIV、各土木事務所との取組ですが、市民の皆様が安全に、また安心して暮らしていただくた

め、身近な公園の管理等を各区の土木事務所と一体となって取り組んでまいります。

その下のV、令和8年度予算規模ですが、表の区分の1行目の一般会計の欄を御覧ください。

令和8年度の一般会計の予算額は389億1147万円です。その3行下のみどり保全創造事業費会計は113億2240万円となり、表の一番下の純計ですが、464億6077万円となっております。

続いて、8ページを御覧ください。

II、令和8年度みどり環境局における主な事業について説明いたします。

下の囲みを御覧ください。

凡例と留意事項と示しておりますが、先ほど申し上げた横浜市中期計画の計画期間における成果に寄与する主な事業については新中期マーク、新規事業として事業の新設や新たな取組の開始など、新たな要素を含むものについては赤字の新規マーク、拡充事業として実施箇所数の増や単価の引上げなど、事業を拡充するものについては青字の拡充マークを施策名の後ろにつけています。

また、各事業の事業費の後ろには前年度の事業費を括弧書きで示しており、前年度事業費の後ろには36ページ以降の各会計別予算に対応する掲載ページを示しています。

それでは、9ページを御覧ください。

まず、総合環境政策の分野です。

10ページにお進みください。

1、環境政策の総合調整等として、（1）環境政策の総合調整、（2）生物多様性の普及啓発、（3）地籍調査、（4）環境にやさしいライフスタイルの推進。11ページを御覧ください。あわせて、（5）横浜GREEN×EXPO関連の取組として、ア、GREEN×EXPO 2027公園愛護会等活躍発信事業、イ、全国都市緑化祭の開催準備、ウ、フラワー&グリーンYOKOHAMA2027によるにぎわいの創出に取り組みます。

ページの右側には、コラムとしてエシカル消費の普及啓発について記載していますので、後ほど御覧ください。

12ページを御覧ください。

みどりの分野について御説明いたします。

13ページにお進みください。

1、市民とともに次世代につなぐ森を育む取組として、（1）まとまりのある樹林地の保全・活用では、ア、緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、イ、良好な森の育成、ウ、森に関わる多様な機会の創出に取り組んでまいります。

14ページを御覧ください。

2、市民が実感できる緑や花をつくる取組として、（1）市民が実感できる緑や花の創出・育成に取り組むとともに、（2）ガーデンシティ横浜のさらなる推進として、ア、緑や花があふれる地域づくり、イ、子供を育む空間での緑の創出・育成、ウ、緑や花による魅力・にぎわいの創出・育成に取り組みます。

15ページを御覧ください。

3、横浜みどりアップ計画の広報を進めてまいります。

続いて、16ページを御覧ください。

4、ガーデンネックレス横浜の取組として、（1）ガーデンネックレス横浜2026の開催や、（2）各区・地域での展開として、一部再掲になりますが、ア、緑や花があふれる地域づくりと、イ、緑や花による魅

力・にぎわい創出・育成に取り組んでまいります。

17ページを御覧ください。

コラムとして市民の森の開園について記載していますので、後ほど御覧ください。

18ページを御覧ください。

次に、公園の分野について御説明いたします。

19ページにお進みください。

1、公園の維持管理・運営、整備として、（1）公園の維持管理・運営では、ア、公園の維持管理と、イ、公園愛護会等の活動支援に取り組んでまいります。

20ページを御覧ください。

（2）公園の整備では、ア、公園整備事業として、（ア）公園施設の保全・更新、（イ）公園リニューアルによるまちの魅力づくり、（ウ）3つの動物園の魅力向上、（エ）米軍施設返還及び土地利用転換に伴う公園整備、（オ）安全確保や市民ニーズに応える公園整備等、（カ）先行取得用地の有償所管換等に取り組みます。

21ページにお進みください。

同じく公園の整備において、イ、公園環境整備加速化事業、ウ、公園内歴史的建造物保存活用事業、エ、公園施設LED化事業に取り組んでまいります。

22ページを御覧ください。

2、動物園等の管理運営として、（1）動物園等の管理運営、（2）動物園の国際的な取組を進めてまいります。

23ページを御覧ください。

このページから25ページには、コラムとして3つのZOOみらいプロジェクト、公園のまちヨコハマの一層の推進、土木事務所と連携した身近な環境の保全・創造について記載していますので、後ほど御覧ください。

それでは、26ページにお進みください。

続いて、農業の分野について説明いたします。

27ページを御覧ください。

1、持続できる都市農業の推進として、（1）農業経営の安定化・効率化に向けた支援、（2）横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援に取り組みます。28ページを御覧ください。あわせて、（3）農地の保全と利用促進、（4）旧上瀬谷通信施設地区における農業振興に取り組んでまいります。

29ページを御覧ください。

2、市民が身近に農を感じる場をつくる取組として、（1）農に親しむ取組の推進では、ア、良好な農景観の保全、イ、農とふれあう場づくり、（2）横浜農場の展開による地産地消の推進では、ア、身近に感じる地産地消の推進、イ、市民や企業と連携した地産地消の展開。30ページにお進みください。（3）子育て世帯向けの農体験、すくすくファーム横浜の取組では、ア、家庭で始める農体験機会の創出、イ、街なかや畑で楽しむ農体験機会の拡充、（4）たべるサーキュラーの取組では、ア、事業者から出るごみの循環、イ、農地から出る残渣の循環に取り組んでまいります。

31ページを御覧ください。

コラムとして、都心部の農体験と、たべるサーキュラーについて記載していますので、後ほど御覧ください。

32ページを御覧ください。

環境保全の分野について御説明いたします。

33ページを御覧ください。

1、大規模事業における環境負荷の低減／良好な大気・音・水・土壌環境の確保として、（１）環境影響評価制度の運用、（２）環境状況の把握と情報発信・共有、（３）大気汚染、騒音、水質汚濁、土壌汚染等に関する事業者への規制・指導、（４）試験検査・環境危機管理対策事業に取り組んでまいります。

34ページを御覧ください。

2、身近な生活環境の保全として、（１）騒音・悪臭等の相談対応、（２）豊かな海づくり事業に取り組めます。

右側に、コラムとして環境科学研究所の取組とこれからについて記載していますので、後ほど御覧ください。

35ページを御覧ください。

（３）都市の暑さ対策調査研究事業、（４）身近な生活環境の保全に向けたプロモーション等の推進に取り組めます。

右側に、コラムとして市民力を生かした環境調査について記載していますので、後ほど御覧ください。

以上が、令和8年度みどり環境局における主な事業です。

なお、各会計別の予算の内訳は36ページ以降にまとめておりますので、後ほど御覧ください。

今年度も適切かつ効果的な業務の執行に努めながら、求められる役割を着実に、また積極的に果たしてまいります。

これで、みどり環境局の令和8年度の事業概要の説明を終わります。

○ 川口広委員長 説明が終わりましたので、質疑等に入ります。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○ 川口広委員長 特に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。

以上で、みどり環境局関係の議題は終了いたしました。



◎ 閉会宣告

○ 川口広委員長 本日の議題は全て終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。

閉会時刻 午後3時14分